

●殿

平成●年●月●日

●

代表取締役 ●

## 最 終 警 告 書

●（以下「当社」と申します。）は貴殿に対し、以下のとおり最終警告を行います。

貴殿は、平成16年4月1日付で当社と労働契約を締結したものでありますが、貴殿は、入社時は●部、平成●年●月●日からは●部に異動したものの、その間の貴殿の業績は当社の求める水準をはるかに下回っております。具体的に言えば、●部においては●システムの設計で重大なミスを2回犯し、貴殿の教育・改善のために異動した●部においては顧客への改善提案を全く行うことができませんでした。

一方、当社は、貴殿の入社以来、注意指導を行って参りました。平成●年●月●日、平成●年●月●日、平成●年●月●日には貴殿との面談を行い、目標設定をし、指導担当の上司の下に貴殿に注意・指導・教育を行いました。しかしながら、貴殿は、平成●年●月●日の面談に至っては、成果報告のレポートの提出すら怠りました。

加えて、貴殿は、誠実労働義務や企業秩序遵守義務に反する言動を長期に渡り繰り返して現在に至っております。具体的には、貴殿は、平成●年●月●日、平成●年●月●日、上司に対し「●」との暴言を吐き業務命令に従わないなど、貴殿の非違行為に対する懲戒処分だけをみても現在までに実に●回の多数に渡っておりますし、懲戒処分がなされた事実以外にも、貴殿には、誠実労働義務や企業秩序遵守義務に反する言動が多くみられます。

当社は、貴殿に対し、随時注意指導を行い、場合によっては労働契約終了に至らない程度の懲戒処分を行い、繰り返し改善を促しました。にもかかわらず、貴殿の業績は、残念ながら現在もなお改善しておらず、今後とも改善は非常に困難と言わざるを得ません。

そこで、当社は貴殿に対し、貴殿の業務遂行、言動によっては、もはや改善の見込みなしとして、貴殿との労働契約を終了せざるを得ないと考えております旨、本書にて最終警告を行いますとともに、貴殿がこの最後の改善の機会を与えます。

次回面談は、平成●年●月●日であり、再び貴殿の目標設定を行う予定です。

以 上